

社会保険労務士 会報 あおもり

発行 青森県社会保険労務士会 青森市安方2丁目9番20号 室津ビル2F TEL 017(773)5179 FAX (775)1428 編集 総務広報委員会



東北新幹線E5系 はやぶさ



がんばろう東北!

※2ページはこちらに差し替えになりますのでよろしくお願いします。

平成23年度第33回通常総会を開催

第33回通常総会が去る5月24日、ホテル青森で開催された。

当日は、会員201名のうち56名出席（ほか委任状提出89名計145名）された。

司会を、八戸支部石橋理事が担当、坂下副会長の開会宣言の後、前回以後の4名の故人へ黙祷を捧げたあと、ご来賓のみなさまからご祝辞をいただいた。議事に先立ち議長に十和田支部山岸孝行氏、副議長に五所川原支部山崎博見氏を、議事録署名人に青森支部今善樹氏と青森支部桐田宗美氏を選任した。

議事に入り、第4号議案事業計画案と第5号議案予算案で質疑が交わされたが両案とも原案通り承認された。第1号議案から第3号議案は提案どおり承認された。

そのあと、役員改選に入り青森支部葛西一美会長以下の役員を選任し閉会した。



会長 葛西 一美



全国社会保険労務士会連合会
事務局長 澤江 慎一



青森労働局長 鈴木 一光

ご 祝 辞

全国社会保険労務士会連合会
会長 金田 修

挨拶に先立ちまして、3月11日の東日本大震災においてお亡くなりになられた方にご冥福をお祈り申し上げますとともに、お怪我をされた皆様や避難所等で不自由な生活を余儀なくされている皆様方に衷心よりお見舞い申し上げます。

今回の大震災の発生を受け、連合会では、3月14日に東日本大震災災害対策本部を立ち上げ、都道府県会とともに災害復興のために全力で取り組んでいるところでございます。

また、皆様に義援金のご協力をお願い致しましたところ、多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます次第です。

皆様からお預かりした義援金は、被災地の会員とその家族の生活再建の支援のために使わせていただくとともに、社会貢献の一環として、被災地域の復興の一助となるよう、一部を日本赤十字社に寄付させていただきましたので、この場をお借りしてご報告申し上げます。

さらに、連合会においては、「災害復興事業」を平成23年度の重点事業として掲げ、4月1日から「震災復興ほっとライン」を開設し、被災された方々からの労働社会保険等に関する電話相談に応じるとともに、5月からは、岩手、宮城、福島の各地域で「社労士労働年金相談ほっとキャラバン」を実施しているところです。

これらに加え、引き続き、都道府県会及び厚生労働省等が実施する災害対策事業にも積極的に協力し、社労士としての社会的責任を果たしていく所存です。

現在、このように大変な状況に置かれておりますが、本年度はこれまで以上に「連合会の政策は国民目線」、「連合会の事業運営は会員目線」、「会員は顧客目線」という信念の下、会務運営に取り組んでまいりたいと存じます。

第一に、社労士業務を拡大するための第八次社会保険労務士法改正に引き続き取り組みます。この法改正では、労働審判における代理業務、簡易裁判所における訴訟代理権の獲得をはじめとする要望事項を実現させなくてはなりません。本年3月には紛争解決手続代理業務試験合格者が一万名を超えたところですが、今後、特定社労士による個別労働関係紛争の実績及び社労士が日々の業務の中で受けた労働相談の実績を明らかにし、社労士への労働審判及び簡易裁判所における代理権付与の有用性を示すことは極めて重要であると考えるところです。そのためには、ADR機関として、既に全国で35か所に設置されている社労士会労働紛争解決センター及び全国の総合労働相談所での実績を積み重ねるとともに、全国社会保険労務士政治連盟との連携を強化し、法改正に必要な対策を講じなければなりません。

続いて、経営労務監査につきましても、社労士の職域として確立を図り、関心が高まりつつある労働条件審査が地方自治体等における入札の必須条件となるよう推進する等、この業務が社労士業務の中核となるよう一層強力に取り組んでまいりたいと考えております。

さらに、社労士制度が更に充実・発展し、国民の皆様から信頼を得るため、「体系的研修制度の構築」につきましても、引き続き推進してまいります。特に、昨年12月に連合会ホームページに開設したe-ラーニングシステムは、社労士の専門性を高めるための分野別研修を、会員の皆様に「いつでも」「どこでも」「何度でも」受講いただけるものです。連合会では、皆様の業務に直結した研修について、会員の皆様の受講機会の拡大を図ってまいりたいと考えておりますので、積極的にご活用いただきたいと存じます。

また、電子申請については、一括申請機能により大いに利便性が向上したことから、手続業務の効率を高めるため、今後も都道府県会の皆様の協力を得ながら利用促進を図り、システムの改善及び電子申請の対象手続の拡大を要請してまいります。

街角の年金相談センターについては、昨年1月に運営業務を受託し、約1年半が経過いたしました。これまで、都道府県会及びセンター職員の皆様には、国民の利便性向上のため、また、サービス向上のためにご尽力いただいておりますことを改めて深く感謝申し上げます。

かねてから街角センターが設置されていない県会への早期設置についても働きかけを行ってまいりましたが、日本年金機構との協議の結果、平成23年度中に、新たに常設型出張相談所として、街角センター未設置県について五箇所新設し、さらに既設置県についても、混雑緩和を目的として、五箇所増設されることにより、全国で計10箇所増設されることが決定いたしました。引き続き未設置県への街角センター設置要請を強力に推し進め、年金に対する不安解消と年金受給権等の権利擁護のため、国民の皆様の方々に応えていきたいと考えております。

いずれにしましても、これらの事業を成し遂げるためには、全会員が一致団結して取り組むことが不可欠です。社労士制度のより一層の発展のため、積極的に業務に取り組んでいただきますよう改めてお願い申し上げます。

最後になりますが、日頃より、葛西会長をはじめ会員の皆様には、連合会の会務運営に多大なるご支援とご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げますとともに、貴会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げまして、私のお祝いのご挨拶といたします。



青森県社会保険労務士会
会長 葛西一美

会長あいさつ

このたび平成23年度通常総会において、会長に選任され、会の運営を担うことになりました。

平成23年3月11日東日本大震災が発生し、多くの方々、企業に大きな影響を与えており、我々社会保険労務士にとっても厳しいものとなっております。

私共青森県会に対して全国社会保険労務士会連合会及び全国の都道府県会社会保険労務士会の方々から御支援をいただいていることに心から感謝申し

上げます。

私たち役員はこのような状況のなかで総会で承認された事業を積極的に展開していくつもりであります。

- ① ADRについては今年度は是非社労士会労働紛争解決センターを設置します。
- ② 研修を学者及び弁護士の先生方を講師に労働法を中心に労務管理研修を実施してまいります。
- ③ 成年後見制度へは積極的に取り組むことにしております。

また、これまでも取り組んでいる電子申請及び年金研修は重要な事項であり引き続き充実を図ってまいりたいと存じます。

以上の事を中心に会務を進めてまいりたいと思いますので、会員の皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

青森県社会保険労務士会役員

平成23年5月24日改選（任期2年）

役職名	氏名	所属	役職名	氏名	所属
会長	葛西一美	青森	理事	唐牛光明	青森
副会長	榊秀雄	〃	〃	石橋一恭	〃
〃	高地豊人	弘前	〃	島守雅之	〃
〃	坂下武治	八戸	〃	畑中伊與吉	むつ
専務理事	田名邊 收	青森	〃	境谷 誠	五所川原
常務理事	石倉伸一	十和田	監事	藤田光雄	青森
〃	油川安孝	弘前	〃	武森慎一	十和田
理事	今善樹	青森	顧問	佐々木孝典	青森
〃	木村勝嗣	〃			

青森県社会保険労務士政治連盟役員

平成23年5月24日改選（任期2年）

役職名	氏名	所属	役職名	氏名	所属
名誉会長	中村 甲子男	八戸	幹事	木村 勝嗣	青森
会長	榊 秀雄	青森	〃	宇野 誠一	弘前
副会長	葛西 一美	〃	〃	石橋 一恭	八戸
〃	坂下 武治	八戸	〃	島守 雅之	〃
〃	山岸 孝行	十和田	〃	杉本 秀俊	むつ
幹事長	油川 安孝	弘前	〃	境谷 誠	五所川原
幹事長代理	山崎 博見	五所川原	監事	唐牛 光明	青森
幹事	成田 光一郎	青森	〃	桐田 宗美	〃

青森県社会保険労務士会各委員会等役職

委員会等名称	委員長等氏名	副委員長等氏名	担当三役
運営企画委員会	田名邊 收		田名邊 收
総務広報委員会	石倉 伸一	唐牛 光明	坂下 武治
財務委員会	境谷 誠	畑中 伊與吉	坂下 武治
研修委員会	油川 安孝	今 善樹	榊 秀雄
調査企画委員会	石倉 伸一	島守 雅之	
青年委員会	葛西 康也		石倉 伸一
A D R 委員会	田名邊 收	石橋 一恭	
総合労働相談所	榊 秀雄	木村 勝嗣	
年金相談センター	高地 豊人		
綱紀委員会	高地 豊人	油川 安孝	

研 修 会 開 催

平成22年度第2回研修会

日 時 平成23年3月1日(火)
13:30～16:50

場 所 ホテル青森3階「あすなろの間」

受講者数 50名

研修テーマ・講師

○「経営労務監査」の現状と未来
社会保険労務士の専門性の向上と確立
をめざして

講師：社会保険労務士総合研究機構
主任研究員
愛知東邦大学経営学部
教授 田村 豊氏

平成23年度第1回研修会

日 時 平成23年7月15日(金)
13:30～16:30

場 所 浅虫温泉「南部屋」2F(雲井)

受講者数 57名

研修テーマ・講師

○「企業を伸ばす雇用管理」
～労務監査も含めた雇用管理の実践に
ついて～

講師：東京都社会保険労務士会城東統括
支部
江東支部 副支部長兼研修委員長
(株)吉田コンサルティング
社会保険労務士 吉田 孝司氏



青森労働局からお知らせ

青森県電気機械器具製造業最低工賃

効力発生の日 平成23年5月1日

次の表の品目欄、工程欄及び規格欄の区分に応じ、金額欄に掲げる金額。

品 目	工 程	規 格		金 額
シールド線	端末加工（シールド線をよじり、かつ、芯線をむき出し、よじり、ハンダ付けを行うことをいう）			100本につき 392円38銭
コネクター	差し（コンタクトをインシュレータに差し込むこと）	1端子ごとに差すもの		100端子につき 21円51銭
		連続端子となっているもの		100回につき 46円23銭
アルミ電解 コンデンサー	目視による完成品外観検査	テーピング状で 行うもの	自動検査済みの もの	100個につき 8円61銭
		バラ状で行うもの		100個につき 15円31銭

※ 最低工賃に関するご相談・お問い合わせは
青森労働局労働基準部賃金室（TEL 017-734-4114）または最寄りの労働基準監督署へ

■ ■ ■ ■ 支 部 だ よ り ■ ■ ■ ■

支 部	役 職	氏 名	役 職	氏 名
青 森	支 部 長	榊 秀 雄	副 支 部 長	木 村 勝 嗣
弘 前	〃	油 川 安 孝	〃	高 地 豊 人
八 戸	〃	坂 下 武 治	〃	石 橋 一 恭
む つ	〃	畑 中 伊 與 吉	〃	杉 本 秀 俊
十 和 田	〃	石 倉 伸 一	〃	武 森 慎 一
			〃	西 野 恭 通
五 所 川 原	〃	境 谷 誠	〃	山 崎 博 見

諸 会 議

年金マスター会議

日 時 平成23年2月10日(木) 13:30～
場 所 青森年金事務所
議 題
1. 年金マスター研修の実施について

平成22年度第2回電子申請委員会

日 時 平成23年3月10日(木) 10:30～
場 所 ホテル青森
議 題
1. 各電子申請相談員の活動報告
2. 来年度の取組について
3. 電子申請に関する情報交換

平成22年度第5回三役会

日 時 平成23年3月18日(金) 10:30～
場 所 ホテル青森
議 題
1. 各支部における東北地方太平洋沖地震被害について
2. 東北地方太平洋沖地震の義援活動について
3. 兵庫県南部地震に伴う労働基準法の疑義解釈について
4. 最低賃金総合相談センターについて
5. 年金マスター研修について
4. 通常総会開催について

平成23年度第1回三役会

日 時 平成23年4月15日(金) 10:30～
場 所 ホテル青森
議 題
1. 第168回連合会理事会の結果報告
2. 平成23年度通常総会の審議
3. その他

平成23年度第1回理事会

日 時 平成23年4月15日(金) 13:00～
場 所 ホテル青森
議 題
1. 第168回連合会理事会の結果報告
2. 平成23年度通常総会の審議
3. その他

平成23年度第3回理事会

日 時 平成23年6月9日(木) 15:30～
場 所 ホテル秋田屋
議 題
1. 第33回通常総会の総括
2. 第170回連合会理事会報告
3. 各委員会の構成
4. 平成23年度各事業実施について
5. 東日本大震災義援金の扱いについて

平成23年度第2回三役会

日 時 平成23年7月15日(金) 11:00～
場 所 南部屋
議 題
1. 事業実施の具体的計画について
2. その他

平成23年度第3回三役会

日 時 平成23年8月9日(火) 12:00～
場 所 ホテル青森
議 題
1. 連合会第173回理事会報告
2. 紛争解決センター設立の進め方
3. 研修のあり方
4. 事務局人事について
5. その他

東日本大震災義援金

青森県社労士会東日本大震災義援金募集にあたりご協力ありがとうございました。

皆様方のご協力により義援金は総額581,500円集まりました。
7月20日に連合会へ送金させていただいたことをご報告いたします。



「社会保険労務士賠償責任保険」 に加入しましょう

この保険は、社会保険労務士が社会保険労務士業務により、業務を委嘱した顧客または第三者に与えた財務上の損害につき、保険期間中に損害賠償請求を提起された場合において、社会保険労務士が法律上の損害賠償責任を負担したことによって被る損害を補償するものです。さらに、保険会社の同意を得て支出した争訟費用（弁護士費用など）も保証します。

安心、円滑な業務遂行・顧問先との信頼関係の維持のためにも是非加入しましょう。



保険期間は12月1日午後4時からの1年間です。毎月中途加入も受け付けております。
(中途加入の場合、毎月10日までにお申込みを頂いた場合、翌月1日から補償が開始する契約となっており、各月の11日以降にお申込みを頂いた場合は、翌々月1日からの契約となります。)

ご希望の方へはパンフレットをお送りしますので、事務局までご連絡ください。

青森県社会保険労務士会 全国社会保険労務士会連合会

<お問合せ先>

<取扱代理店>

有限会社 エス・アール・サービス

東京都中央区日本橋本石町3-2-12
社会保険労務士会館
TEL 03-6225-4873

<引受保険会社>

東京海上日動火災保険株式会社
広域法人部法人第三課
東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエアWEST11階
TEL 03-5223-3167
三井住友海上火災保険株式会社
富士火災海上保険株式会社

中小企業 退職金共済制度

頑張ってくれる
従業員のために…



そんな社長さんの思いを、
国の退職金制度「中退共」がサポートします。

● 掛金を助成 ● 全額非課税 ● カンタン管理
—— 家族従業員の加入もOK! ——

平成23年1月から同居の親族のみを雇用する
事業所も加入できるようになりました。

詳しくはホームページをご覧ください。

(独)勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部
TEL (03) 3436-0151 (代表) FAX (03) 3436-0400

<加入の手続き>

☆ 所定の申込書に記入・押印の上、お近くの金融機関または青森県社会保険労務士会を経由して提出して下さい。

なお、事業所が新規に加入した場合で社会保険労務士が青森県社会保険労務士会を経由して申し込みをした場合、手数料が支給されます。

<お問い合わせ先>

青 森 県
社会保険労務士会
TEL 017-773-5179

中退共普及推進員
渡 邊 茂
TEL 017-739-4883

事 務 局 だ よ り

【会員の動き】

平成23年7月15日現在会員数

会員種別	支部名	青	森	弘	前	八	戸	む	つ	十	和	田	五	所	川	原	合	計
	開業			57		27		40		10		15		13				
非開業			12		7		10		2		4		0					35
合計			69		34		50		12		19		13					197

【諸変更】

氏名	変更内容	
大坂みどり	住所 電話番号	〒030-0961 青森市浪打1-3-15 セビアン2号 017-752-1829
福田靖一	事務所名称	福田社労士事務所
山田秀樹	勤務先 勤務先所在地	青い森信用金庫営業統括部 〒031-0086 八戸市大字八日町18
飯田由紀	事務所所在地 事務所電話番号	〒031-0071 八戸市沼館1-3-35 0178-43-4523
佐藤博子	事務所名称	ソフィア特定社会保険労務士法人東北支社
山村義彦	住所	〒038-0003 青森市石江岡部157-5
中田宇宣	事務所名称	社労士みちのく労務
葛西康也	事務所所在地	〒030-0851 青森市旭町1-11-26-1

【種別変更】

氏名	種別	変更年月日	事務所名・事務所所在地
福士義美	開業 → 非開業	H23.3.31	社会保険労務士福士事務所 〒036-8186 弘前市富田3-4-18

【退会者（移管）】

氏名	支部	種別	退会日	移管先
大湊政五郎	八戸	非開業	H23.3.31	宮城県会
花部訓	むつ	非開業	H23.6.30	宮城県会

【退会者】

氏名	支部	種別	退会日
工藤繁美	弘前	非開業	H23.3.31
田村こずえ	八戸	開業	H23.3.31
中誠太郎	八戸	開業	H23.3.31
浅利有里	弘前	非開業	H23.4.30

お悔み

<弘前支部>
大西 清敬さん
1月20日逝去
村田 清一さん
7月14日逝去

<八戸支部>
工藤 敏啓さん
4月17日逝去
高橋 弘さん
5月2日逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記 総務広報委員として活字ベタですが、会報の発行に携わることになりました。県会の多岐にわたる活動状況を伝え、会員の皆様の声を拾い上げ、じっくり読んでもらえる（新会員の紹介欄以外も）会報になるよう、石倉常務共々頑張りますので、よろしくお祈りします。（牛）

総務広報委員会 石倉伸一（十和田支部）・唐牛光明（青森支部）